

令和4年度 全体計画

笠岡市立ひまわり認定こども園

教育・保育理念		○自分のよさやもち味を発揮し、生き生きと活動する子どもを育てる。 ○子どもが心地良さを感じ、自分の存在感を実感しながら、安心して過ごせるようにする。 ○子どもの最善の利益を踏まえ、保護者や地域と連携して子育て支援に取り組む。	めざす子ども像	○元気な子ども ○がんばる子ども ○やさしい子ども ○考えるこども
教育・保育目標		3 歳 児 ○園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分で身の回りのことをしようとする。 ○先生や友達に親しみを持ち、友達と遊ぶことを楽しみながら、安心していろいろな遊びに取り組む。	4 歳 児 ○基本的な生活習慣を身につけ、自分から進んでしようとする。 ○先生や友達と関わりながら、一緒に活動する楽しさを味わう。 ○いろいろな遊びに興味を持ち、進んで取り組む中で満足感を味わう。	5 歳 児 ○他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。 ○感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。
教 育 ・ 保 育 内 容				
		3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
養 護	生命の保持	基本的な生活習慣が身に付けられるようにする。 運動機能を高めるようにする。	生理的な欲求の満足や体の十分な活動をする。	基本的な生活習慣が身に付き、自信を持って健康で安全な生活が送れるようにする。
	情緒の安定	自我を大切にし、主体的に行動できるようにする。	日々の生活に安心感を持ち、のびのびと友達と関わっていけるようにする。	周囲の環境や人とのかかわりの中で達成感を持ち、主体的・意欲的に活動ができるようにする。
教育及び保育	健康	身の回りの清潔に気を付ける。 生活に必要な基本的なことについて自分で行おうとする。	健康や安全な生活に必要なことに関心をもって、身に付けようとする。	自分の体に関心を持ち、健康で安全に過ごす。
	人間関係	ルールのある遊びの中でルールを守ろうとする。	友達と一緒に活動する楽しさを知る。	遊びや行事をとおして、友達を応援したり、力を合わせることの大切さを知る。
	環境	身近な自然や環境に興味関心をもつ。	自然など身近な環境へのかかわりや遊びを体験していく。	身近な事柄に興味を持ち、数、文字、標識などに関心をもつ。
	言葉	自分の思いを言葉で表現したり、相手の話を聞いたりする。	保育教諭や友達との会話を楽しみ、伝え合う喜びを味わう。	自分の思いを言葉で伝え、人の話を聞いて理解し、相手にも分かるように話す。
	表現	様々な素材や用意に親しみ、友達と遊ぶ。	いろいろな素材や用具、表現方法に関心をもつ。	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊ぶ楽しさを味わったりする。
食育計画 学校保健計画 安全計画 (別添参照)		・園児が教育・保育を通して、食に関する様々な体験ができるよう工夫し、友達や保育教諭等と食事を楽しむことができるようにする。 ・感染症予防を十分に図るなど衛生面、安全面に十分留意して、園児が安心して生活できるよう園内施設や保育環境を整える。 ・日々の情報交換など健康に関する情報を共有する中で、家庭との連携を図る。	特別な配慮を必要とするこどもへの指導	・障がいがある園児に対して、その特性等を的確に把握して、個別の支援計画及び指導計画を作成し、すべての保育教諭等が正しい理解と認識を深め、組織的に対応する。 ・保育教諭等は一人一人の園児の実態や家庭的な背景を適切に理解し、集団生活を通して、互いにかげがえのない存在であることに築くように促していく。
小学校との連携		・アプローチカリキュラムの実践(5歳児) ・小学校児童との交流会の実施 ・小学校体験入学への参加 ・保育教諭等の小学校授業参観、情報交換会、合同研修会への参加	保育教諭等の研修計画	・市主催研修会への参加 ・市内外の公開保育研修会等への参加 ・定期的な園内研修(公開保育)の実施 ・日常的な保育実践や研修会参加報告等をもとにした情報共有の場の設定
子育て支援		保護者 ・定期的な園庭開放 ・育児相談の機会の設定 ・保護者の保育参加 ・園だより等による啓発 地域 ・育児相談の場の設定 ・定期的な園庭開放 ・園行事への親子参加	主 な 行 事	入園式 誕生会 健康診断 プール遊び セタ 夏まつり 個人懇談 参観日 運動会 秋の遠足 生活発表会 クリスマス会 豆まき お別れ遠足 ひな祭り 卒園式

令和4年度 笠岡市立ひまわり認定こども園 年間カリキュラム

3歳児						
教育・保育目標		○園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分で身の回りのことをしようとする。 ○先生や友達に親しみを持ち、友達と遊ぶことを楽しみながら、安心していろいろな遊びに取り組む。			養護	○保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ○一人一人の園児の欲求を受け止め、安心して生活できるようにする。 ○自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身に付ける。
年間区分		I期(4月・5月)	II期(6月・7月・8月)	III期(9月・10月)	IV期(11月・12月)	V期(1月・2月・3月)
ねらい		○新しい保育室や先生に親しみを持ち、安心して生活する。 ○友達や先生と一緒に好きな遊びを見つけて楽しむ。 ○春の身近な自然に親しみ、興味・関心をもちながら関って遊ぶ。	○園での生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。 ○先生や友達と一緒に、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。 ○身近な夏の自然に親しむ。	○生活リズムを取り戻しながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ○先生や友達と一緒に、同じ遊びをする楽しさを味わう。 ○戸外で十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○秋の自然に触れながら遊ぶことを楽しむ。	○身の回りのことを自らしようとする。 ○遊びの中でイメージを膨らませたり、表現したりして楽しむ。 ○先生や友達と一緒に様々な遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。 ○秋から冬へと移り変わる自然に興味をもち、触れて遊ぶ。	○身の回りのことを、自信をもって自らしようとする。 ○戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ○冬ならではの自然現象に気付き、興味をもつ。 ○進級への期待をもって生活する。
育てたい子どもの姿	健康	・園生活の仕方を知り、少しずつ慣れる。 ・身の回りの始末の仕方を再確認する。 ・遊具や用具の、安全な遊び方を知る。 ・園庭や固定遊具で遊ぶことを楽しむ。	・遊びに必要な身支度や始末を自分でしようとする。 ・戸外遊びや水遊びで十分に体を動かすことを楽しむ。	・健康な生活リズムを身に付ける。 ・戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・友達や先生と一緒に安全に気を付けて生活する。	・うがい・手洗いなどの健康管理の仕方を知り先生や友達と一緒に行動する。 ・戸外で思いっきり体を動かして遊ぶ。	・持ち物の始末や身支度など必要な動きを自分でする。 ・寒さに負けず戸外で体を動かして遊び、元気に過ごす。
	人間関係	・自分のクラスが分かり、担任や友達を知り安心して過ごす。	・好きな遊びを楽しむ中で、友達のすることを見たり真似したりしながら一緒に遊ぼうとする。	・簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを友達と一緒に楽しむ。 ・友達と遊ぶ中で自分の思いや気持ちを出し、先生に支えられながら友達の思いを知る。	・先生や友達と関わりながら遊ぶことの楽しさを感じる。 ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。	・友達を誘って一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・成長したことを喜び、進級を楽しみにする。
	環境	・いろいろな遊具や用具があることを知り遊ぶ。 ・春の草花や虫を見たり触れたりして楽しむ。	・生き物や植物に興味をもち、先生が世話をしているのを見たり手伝ったりする。 ・水や土などに触れながら、感触を味わえる遊びを十分に楽しむ。	・いろいろな運動遊具に触れて遊ぶことを楽しむ。 ・秋の自然に触れる中で、見たり触れたりしながら興味や関心をもつ。	・身近な物の色、形、大小などの違いに気付く。 ・集めた自然物を使っていろいろな遊びを楽しむ。	・冬の自然に触れたり体で感じたりする中で、驚いたり面白さを味わったりする。 ・文字や数などに興味をもつ。
	言葉	・日常の挨拶や返事など生活や遊びに必要な簡単な言葉を使う。 ・絵本を見たり、読んでもらったりすることを楽しむ。	・自分の経験したことや思いを自分なりの言葉で、先生や友達に伝えようとする。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、進んで使う。	・自分の思ったことや見たこと聞いたことなどを言葉で伝えようとする。	・友達との関わりの中で、言葉のやりとりを楽しむ。	・自分の思いを言葉にしたり、相手の話を聞こうとしたりする。
	表現	・先生や友達と歌を歌ったり手遊びをしたりすることを楽しむ。 ・身近な素材に触れて楽しむ。	・身近な素材に触れながら、伸び伸びと歌を歌ったりついたりする。 ・先生や友達と一緒に楽しんで歌を歌ったり簡単なリズムに合わせて踊ったりする。	・いろいろな素材を使ってかいたりつくったり、それを使って遊んだりする。 ・音楽に合わせてダンスや体操をして体を動かすことを喜ぶ。	・身近な素材で好きな物を作り、それを使って見立てたりごっこ遊びを楽しんだりする。 ・先生や友達と一緒に歌ったり簡単な楽器を使ったりして遊ぶ。	・気の合う友達と一緒に、自分の思いを言葉や動きで表現しながら遊ぶ。
環境構成と援助の工夫		☆自分の場所が分かるように靴箱やロッカーなどに個人マークを付け、安心して持ち物の整理ができるようにする。 ☆好きな遊びができるように、遊具や用具の表示の仕方や配置などを整える。 ○一人一人を温かく受け入れ、気持ちに寄り添い安心して過ごせるようにする。 ○先生と一緒に遊んだり興味をもてるよう誘ったりして、好きな遊びが見つけられるように関わる。 ○生活の仕方や必要なきまりを丁寧に伝えていく。	☆水遊びが十分できるように場の設定や用具を工夫する。 ☆適度な水分補給と休息を十分とれるように配慮する。 ○生活習慣など個人差に応じて関わり、自分からしようとする気持ちを育てる。 ○興味のある遊びを楽しみ、次第に同じ場所にいる友達とつながりがもてるよう配慮する。	☆運動会を楽しみにし、やってみたいと思えるように運動会の話をしたり、4.5歳児が遊んでいる様子を見たりする機会をもつ。 ☆興味のある遊びを友達と一緒に楽しめるよう場を整えたり、遊具や用具の数を調節したりする。 ○見守ったり励ましたりしながら、その園児なりにやり遂げたという気持ちをもてるようにする。 ○秋の虫のいる場所や秋の草花のある場所を把握し、園児と一緒に見たり触れたりする。	☆いろいろな表現あそびが楽しめるように、必要な物や場を整える。 ☆自然物に触れたり遊びに使ったりできるように、目に付きやすい場所に置いておく。 ○トラブルの状況に応じて、見守ったり仲立ちをしたりしながら、相手の思いに気付けるようにする。 ○身の回りのことを自分から進んでしている姿を認め、意欲的に取り組めるように励ましていく。	☆暖房を入れる、換気する、寒さへの対応など、安全で健康的な環境になるように留意する。 ☆冬の自然現象や春の訪れに関心をもてるように、戸外で過ごす時間を大切にしている。 ○園児同士と一緒に遊べるような環境を用意したり、先生も一緒に仲間に入ったりしながら、必要に応じて声を掛ける。 ○進級に向けて意欲的に生活できるように、取り組みを認めたり生活習慣を見直したりする。
主な行事		入園式 誕生会 参観日 健康診断	プール遊び 七夕 夏まつり	運動会 秋の遠足	生活発表会 クリスマス会	豆まき ひな祭り

4 歳児		令和4年度 笠岡市立ひまわり認定こども園 年間カリキュラム				
教育・保育目標		○園生活に慣れ、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ○先生や友達と関わりながら、一緒に活動する楽しさを味わう。 ○いろいろな遊びに興味をもち、進んで取り組む中で満足感を味わう。		養 護	○集団生活の中で、安全で健康な生活ができるように一人一人に応じた適切な援助をする。 ○一人一人の園児の思いを受け止め、楽しい雰囲気の中で安心して過ごせるようにする。	
年間区分		I 期 (4月・5月)	II 期 (6月・7月・8月)	III 期 (9月・10月)	IV 期 (11月・12月)	V 期 (1月・2月・3月)
ねらい		○新しい生活の仕方を知り、できることは自分でしようとする。 ○自分のしたい遊びを見付け、先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○春の自然に関心をもち、動植物との触れ合いを楽しむ。	○園生活の流れが分かり、自分から進んで行動しようとする。 ○好きな遊びをしながら、先生や友達と触れ合って遊ぶ楽しさを味わう。 ○いろいろな水遊びを通して水に親しむ。 ○身近な夏の自然に触れ、親しみをもつ。	○戸外で体を十分動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○気の合う友達と関わりながら遊ぶことを楽しむ。 ○身近な秋の自然に親しみ、興味や関心をもつ。	○自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○友達と一緒にいろいろな遊びの中で、イメージや言葉を豊かにする。 ○季節の変化を感じながら、身近な自然と関わって遊ぶ楽しさを味わう。	○友達と思いや考えを出し合いながら、活動することを楽しむ。 ○身近な冬の自然現象に触れる中で様々な事象に関心をもつ。 ○年長組になる喜びや期待をもち、自分なりのめあてをもって生活する。
育てたい子どもの姿	健 康	・自分の興味のある遊具や遊びを見つけて遊ぶ。 ・持ち物の始末や片付けの仕方などを考え、自分でしようとする。 ・園生活に必要な約束があることを知り、守ろうとする。 ・遊具の安全な使い方や遊び方を再確認する。	・夏野菜を世話したり収穫したりすることを通して、食への興味や関心をもつ。 ・汗の始末の仕方、休息や水分のとり方などを知り、自分でしようとする。 ・水遊びやプール遊びを通して水に親しむ。	・いろいろな運動遊びに興味や関心をもち、自分なりにやってみようとする。 ・生活のきまりや遊びのルールを守って過ごす。	・簡単なルールのある遊びをしながら友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・うがい・手洗い・衣服の調節などを進んで行う。	・寒さに負けず、しっかり体を動かして遊ぶ。 ・自分なりのめあてをもって繰り返し取り組む。 ・冬を健康に過ごすための生活の仕方を知る。
	人間関係	・喜んで登園し、先生や友達と一緒に過ごすことを楽しむ。	・気の合う友達の動きや言葉に興味をもち、友達との触れ合いを楽しむ。	・生活や遊びの中で、友達の思いや考えに気付く。	・友達と共通の目的をもって遊ぶ。 ・友達と一緒に遊具や用具を交替して使ったり順番を待ったりする。	・友達と考えを出し合って遊びを進めようとする。 ・年長児と関わって遊ぶ中で、憧れの気持ちや進級への期待をもつ。
	環 境	・春の自然や動植物に興味をもち、見たり触れたりすることを楽しむ。 ・野菜や花を植えたり、世話をしたりする。	・水、砂、土などに触れて遊び、自分なりに試したり工夫したりして遊ぶ。 ・身近な動植物に親しみをもち、見たり触れたりして興味をもつ。	・園内外の秋の自然に触れ、取り入れて遊ぶ。 ・いろいろな運動遊具に関心をもち、繰り返しやってみようとする。	・身近な自然物を使っていろいろな遊びを楽しみ、季節の変化を感じたり美しさや不思議さに気付いたりする。 ・遊びの中で数を数えたり、比べたり、分けたり、集めたりして遊ぶ。	・いろいろな伝承遊びを楽しむ。 ・遊びを通して、文字や数量に関心をもつ。 ・雪や霜などの冬の自然に触れて遊んだり、木々の息吹などから季節の変化を感じたりする。
	言 葉	・先生の話の聞いたり、自分の気持ちを伝えようとしたりする。 ・絵本や紙芝居を見たり聞いたりすることを楽しむ。	・見たことや思ったことを先生や友達に自分なりの言葉で話すことを喜ぶ。 ・自分の好きな絵本やお話に親しむ。	・友達と一緒に遊びながら自分の思ったことや考えたことを先生や友達に伝える。	・自分の思いや考えを友達に伝え、友達の話も聞こうとする。 ・絵本・紙芝居・視聴覚教材などを喜んで見たり聞いたりする。	・友達と互いに思いを伝え合って遊ぶ。
	表 現	・自分の好きなものを自由にかいたり、つくったりすることを楽しむ。 ・友達と一緒に歌を歌ったり、手遊びを楽しんだりする。	・いろいろな素材や用具を使って遊ぶ。 ・友達と一緒に歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。	・いろいろな材料を使って遊びに必要なものをつくる。	・イメージを膨らませながら、友達や先生と一緒にいろいろな役になりきって遊ぶ。 ・歌ったり、踊ったり、楽器を扱ったりする中で、音楽に親しむ。	・遊びに必要なものを友達と一緒にかいたり、つくったりする。
環境構成と援助の工夫		☆遊具や用具の数を十分用意したり、表示の仕方を工夫したりするなど自分から遊びを始められるような環境を整える。 ☆身の回りの始末や片付け等をやってみようという思いがもてるように、手順や場所を分かりやすく表示する。 ○一人一人の園児を温かく受け止め触れ合う中で、安心して園生活が送れるよう丁寧に関わっていく。 ○個人差に応じて、身の回りのことをしようとする気持ちを支える。	☆水や砂・土などの感触を十分に味わい、解放感を楽しめるよう様々な素材や道具を準備する。 ☆一人一人の園児の気持ちを把握し興味や関心に応じて環境を再構成する。 ○体を動かした後は、休息や水分の補給の必要性を知らせ、時間を設けたり促したりする。 ○友達に思いが伝わらずにトラブルになった場合は、先生が互いの思いを伝えて、仲立ちをしていく。	☆園児が興味をもって体を動かしたり挑戦したりできるような用具を準備し、場の設定を行っていく。 ☆身近な自然を遊びに取り入れたり、園外保育に出掛けたりするなど、園内外の自然に触れる体験の場を多くもつようにする。 ○集団で遊ぶ楽しさや満足感が味わえるよう、園児の考えやルールを生かして、遊びが展開できるようにする。 ○自分の考えを言葉で伝えられるように、また、受け止めてもらった喜びが味わえるように橋渡しをした代弁したりする。	☆興味をもったことが様々な方法で表現できるように、用具や材料を用意しておく。 ☆自然物に興味をもち、遊びに取り入れられるように、身近に置いておく。 ○様々な表現が楽しめるよう、一人一人の思いやイメージを受け止め、共感する。 ○トラブルが生じた場合は、お互いの気持ちを受け止めたり、一緒に考えたりしながら相手の思いにも気付くことができるようにする。	☆伝承遊びを十分楽しめるように、いろいろな遊具や用具を用意する。 ☆冬の自然の様子や春の訪れに気付くように、身近な自然に触れる機会を意図的にもつ。 ○自分の思いを伝えたり友達の思いに気付いたり互いに共感したりできるよう、場をとらえて援助していく。 ○年長児へのあこがれの気持ちを大切に、様々な準備を通して、自信や満足感が味わえるようにしていく。
主な行事		入園式 誕生会 参観日 健康診断	プール遊び 七夕 夏まつり	運動会 秋の遠足	生活発表会 クリスマス会	豆まき ひな祭り

5歳児		令和4年度 笠岡市立ひまわり認定こども園 年間カリキュラム				
教育・保育目標		○友達と協力して考えたり表現したりしながら主体的に生活し、充実感や満足感を味わう。 ○いろいろな人々に親しみ、支え合って生活するために自立心や人と関わる力を育てる。 ○周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。		養護	○健康や安全な生活について関心をもち必要な習慣や態度を身に付けることができるようにする。 ○一人一人の成長を認め、心身ともに安定するとともに自信をもって生活が送れるようにする。	
年間区分		I期(4月・5月)	II期(6月・7月・8月)	III期(9月・10月)	IV期(11月・12月)	V期(1月・2月・3月)
ねらい		○年長になった喜びや自覚をもち、進んで様々な活動に取り組む。 ○春の自然や身近な動植物に興味や関心をもって関わろうとする。	○友達と関わりながら一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。 ○身近な自然物や素材に興味をもち、見たり触れたり試したりしながら遊ぶ。	○自分なりのめあてをもって、やり遂げる喜びと充実感を味わう。 ○戸外で友達と一緒に、様々な運動遊びを通して体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○秋の自然に親しみ、遊びに取り入れて楽しむ。	○友達と相談したり協力したりして、共通の目的に向かって遊びを進めていく満足感を味わう。 ○身近な自然の変化に興味や関心をもち、遊びに取り入れて遊ぶ。	○友達と共通の目的や見通しをもって、自分たちで遊びや生活を進めていく充実感を味わう。 ○成長した喜びやお世話になった人への感謝の気持ちをもち、就学への期待と自信を高める。 ○春を迎える自然の変化に気づき、その不思議さなどを感じる。
育てたい子どもの姿	健康	・園生活に必要なきまりや生活習慣を再確認し、健康で安全に過ごせるようにする。 ・友達と一緒に身体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。	・友達と一緒にいろいろな遊びに取り組み、身体を動かす楽しさを味わう。 ・自分の身体や体調に関心をもち、健康に必要な習慣を身に付ける。	・体を十分に動かしながらいろいろな運動遊びに進んで取り組む。 ・自分なりの目標をもち、競い合ったり挑戦したりして最後まで取り組む。	・健康や病気予防に関心をもち、手洗い、うがい、衣服の調節を行う。 ・戸外でしっかり体を動かし、いろいろな遊びに取り組む。	・健康に過ごすための習慣や生活のリズムを身に付け、見通しをもって生活する。 ・自分なりの目標に向かって進んで体を動かし達成感や充実感を味わう。
	人間関係	・遊びへの意欲をもち、友達と一緒に活動することを喜ぶ。 ・年長児になった喜びを感じ、異年齢児の世話をしたり、一緒に遊んだりする。	・友達と思いや考えを出し合いながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。	・ルールや役割を話し合い、友達と協力して遊びを進めていく楽しさを味わう。	・友達と共通の目的をもって、協力しながら遊びや活動をする。 ・友達と折り合いをつけながら遊びや活動を進める。	・目的に向かって工夫したり、協力したりしながら遊びをつくり上げていく楽しさを味わう。 ・成長を喜び、世話になった人への感謝の気持ちや入学への期待をもつ。
	環境	・身近な春の自然や動植物に興味や関心をもって関わったり、遊びに取り入れたりする。 ・身近な生活の中にある文字や数や記号などに興味や関心をもつ。	・夏野菜や小動物などに興味をもって世話をしたり観察したりする。 ・量や素材、様々な事象に興味や関心をもち、試したり工夫したりする。	・身近な秋の自然に興味や関心をもって関わったり遊びに取り入れたり観察したりする。 ・自分たちの遊びに必要な遊具や用具の準備をする。	・秋から冬へ向かう身近な自然の変化に気付いたり、素材や質などに関心をもったりする。 ・文字や数量などに興味や関心をもち、遊びに取り入れようとする。	・霜や氷など冬の自然現象や春の訪れに興味・関心をもち、見たり試したりして遊ぶ。 ・文字や数量、標識などに関心をもち、取り入れて遊ぶことを楽しむ。
	言葉	・身の回りの言葉に関心が高まり、喜んで使う。 ・自分の思いを進んで友達に話す。 ・いろいろな分野の絵本に親しむ。	・相手の話をよく聞いたり相手に分かるように話したりする大切さに気付く。 ・言葉の意味を考えて使おうとする。	・相手の話を聞いたり、質問したりしながら友達との会話を楽しむ。 ・絵本に親しみイメージを広げながら楽しむ。	・順序だてて説明しようとしたり、話の内容を聞いて理解しようとしたりする。 ・絵本や物語に興味をもち、友達と共感し合ったり、いろいろな言葉遊びや表現方法を楽しんだりする。	・相手の話を注意して聞いて理解したり、考えたことを相手に分かるように話したりする。
	表現	・身近な素材を選び、かいたりつくったりする。 ・先生や友達と歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりする。	・様々な素材を使ってその性質に気付く、試したり工夫したりして表現する。 ・友達と一緒に歌を歌ったり、様々な楽器を使ってリズム遊びをしたりする。	・友達とイメージを共有しながら、様々な素材を使って遊び場や遊びに必要なものを一緒に作ることを楽しむ。 ・友達と一緒に、曲に合わせて歌ったり、リズムカルな動きを楽しんだりする。	・いろいろな素材や用具を使い、遊びに必要な物を友達と相談したり、協力したりしながら作る。 ・曲の雰囲気を感じ取り、友達と気持ちを合わせて歌を歌ったり、楽器を演奏したりする。	・友達とイメージを共有し、感じたこともや想像したことなどを様々な表現方法で楽しむ。
環境構成と援助の工夫		☆園児の考えや提案を受け入れながら環境構成を工夫する。 ○年長組になった喜びと不安を捉え、一人一人に丁寧に応じ援助する。 ○年下の友達の世話や係活動などを通して、自分が役に立つ喜びが感じられるようにする。	☆友達と一緒に遊びを進めることができるよう、時間を十分に確保したり遊びの場を工夫したりする。 ○一人一人の健康状況に十分に留意して、汗の始末や水分補給などの声掛けをする。 ○集団遊びやグループ活動を多くもち、自分の力を発揮できるように援助をする。	☆様々な運動遊具に興味をもち、しっかりと体を使って遊ぶことを楽しめるように遊具や用具の用意をする。 ○一人一人の頑張りや工夫を認め、自信をもって活動できるようにする。 ○身近な自然の変化に興味や関心が高まるように、園児の発見や感動に共感する。	☆イメージしたことが実現できるように素材や用具を準備したり、時間や場所を確保したりする。 ○共通の目標に向かって取り組むことができるように、励ましたり認めたりする。 ○自分の気持ちをコントロールしたり友達と考えを出し合って活動をする姿を認めたり褒めたりする。	☆気の合った友達と遊ぶ楽しさを存分に味わい、仲間意識を感じられるように、ゆったりとした時間がもてるようにする。 ○生活に見通しをもち、自分で考え主体的に行動する姿を褒め認める。 ○就学への期待が高まっていくように小学校を見学する機会を作ったり、学校生活の話をしたりする。
主な行事		入園式 誕生会 参観日 健康診断	プール遊び セタ 夏まつり	運動会 秋の遠足	生活発表会 クリスマス会	豆まき ひな祭り お別れ遠足 卒園式